

平成29年度の主な施策の概要

1. 将来を展望した広域的な都市づくりを推進し、快適でゆとりのあるまちづくり

長期的な本市のまちづくりの指針となる、都市計画マスタープランに基づき、生活圏を基盤とする適正で有効な土地利用の誘導や、道路・公園などの都市基盤の整備を推進するとともに、周辺市町村との連携を図りながら、秩序ある都市づくりを推進します。特に、地域の特性を活かし、豊かな自然と都市機能との調和を図りながら、いつまでも暮らしやすいまちを実現するため、公共交通と連携した「コンパクトシティ・プラス・ネットワーク」の構築を目指します。

- 道路事業 ◎国道6号牛久土浦バイパス学園東大通りから中地区までの区間事業促進要望 ◎国道354号土浦バイパス全線4車線化要望 ◎県道穴塚大岩田線、荒川沖木田余線、駅前川口線、中央立田線、川口下稲吉線、真鍋神立線、小野土浦線などの整備要望 ◎都市計画道路荒川沖木田余線の4車線化、真鍋神林線、田村沖宿線の延伸整備 ◎市道の改良工事
- 公共交通 ◎関係市町村や公共交通機関と連携した広域的な公共交通ネットワークの構築
- 霞ヶ浦周辺の水辺空間 ◎快適なサイクリング環境やマリナーを一体とし、多くの観光客の訪れる親水空間の形成
- JR常磐線の利便性の向上 ◎朝、夕の東京駅・品川駅乗入要望



2. 市民の生命と財産を守り、安心・安全な、明るいまちづくり

昨年4月の熊本地震による災害を始め、全国各地でさまざまな自然災害が発生していることから、自然に対する畏敬の念を忘れることなく、防災・減災対策を推進し、引き続き安心・安全なまちづくりを進めます。

- 地域の防災対策 ◎防災行政無線の市内全域デジタル化 ◎既存建築物の耐震化 ◎防災井戸を整備する町内会へ支援
- 橋梁などの安全対策 ◎耐震補強工事および長寿命化に向けた修繕
- 地域の防犯対策 ◎神立駅周辺の防犯カメラ設置 ◎防犯灯のLED化 ◎自主防犯組織との連携
- 消防・救急活動の充実 ◎消防水利・消防資機材の整備 ◎消防団施設や装備の充実
- 市街地の浸水対策 ◎神立菅谷雨水幹線および木田余一号雨水幹線の整備
- 急傾斜地崩壊対策 ◎木田余地区の崩壊防止対策工事および対象地区拡大 ◎土砂災害ハザードマップを作成・公表

3. 産業の振興を図り、活力とにぎわいのあるまちづくり

豊かで恵まれた自然環境や地域資源を活かし、産業の振興と地域経済の活性化を図りつつ、活力とにぎわいのあるまちづくりを推進します。

- 中心市街地 ◎新庁舎移転、ペDESTリアンデッキの延伸整備、駅北再開発事業、西口広場の完了 ◎亀城モール整備 ◎まちなか居住、空き店舗への出店に対する家賃助成
- 神立駅西口地区 ◎橋上駅舎や自由通路などの整備とあわせた土地区画整理事業
- 農林水産業の振興 ◎関係機関との連携による農地の効率的利用や、農業生産基盤の整備 ◎新規就農者の育成、耕作放棄地の再生、農産物ブランド化などの推進
- 商業の振興 ◎プレミアム付商品券販売による個人消費喚起 ◎カレーフェスティバルなどのイベント開催によるまちの魅力の発信 ◎中心市街地へ新規出店する事業者に向けたセミナーの実施
- 工業の振興 ◎企業誘致の推進による雇用の場の確保、地域経済の活性化
- 観光の振興 ◎土浦ならではの魅力度向上 ◎インバウンドによる観光集客を含めた交流人口の拡大
- 土浦全国花火競技大会 ◎大曲・長岡との三大花火大会による連携・情報発信
- つくば霞ヶ浦りんりんロード ◎県ならびに沿線市町村との連携による環境整備
- 筑波山地域ジオパーク ◎周辺市と広域的に連携した霞ヶ浦や筑波山周辺の自然環境や歴史遺産の活用
- 土浦応援寄付 ◎市内の生産者・事業者と連携した返礼品の更なる充実



4. 保健・福祉サービスの充実した、人々のあたたかいふれあいのあるまちづくり

少子高齢化が進み、医療・福祉のニーズが多様化・高度化する中、誰もが互いに尊重し、助け合いながら共生できる社会を目指し、保健・福祉サービスの充実を図ります。

- 子ども福祉の推進 ◎公立保育所への民間活力導入の継続 ◎ひとり親家庭の生活安定を図るため、高等職業訓練促進給付金の支給期間を拡大 ◎子育て世代包括支援センターの開設 ◎男性不妊治療に係る支援を実施 ◎少子化対策を充実させるための体制を整え、分野横断的な取組を推進
- 障害福祉の充実 ◎障害福祉計画の見直しおよび障害児福祉計画を新たに策定し、障害者などの日常生活や社会生活を総合的に支援
- 高齢者福祉の充実 ◎土浦型地域包括ケアシステムの拡充
- 認知症対策 ◎認知症初期集中支援チーム専門員の増員
- 子どもの貧困の連鎖を防止するための支援 ◎生活困窮状態にある世帯の児童を対象とした、学習支援教室の実施地区を拡大
- 保健・医療の充実 ◎総合健診の項目に胃がんリスク検診を追加
- 地域医療の充実 ◎霞ヶ浦医療センターへの筑波大学病院地域臨床教育センター設置による医師の配置を支援 ◎土浦協同病院への財政支援を継続

5. 心の豊かさとかくましさを育む教育の推進と、子どもや市民の明るさがあふれるまちづくり

さまざまな個性を認め伸ばし合い、創造力豊かで、生きる力、他人を思いやる心を持った人材の育成を推進します。

学校施設 ◎新治地区の三つの小学校および中学校を統合した、新治学園義務教育学校を平成30年度に開校 ◎平成30年度、市内全小中学校での小中一貫教育の実施に向け準備 ◎新治学園義務教育学校の開校にあわせ、新治地区の児童クラブを統合した新たな児童クラブを新設 ◎老朽化が進む第六中学校の大規模改造

上大津地区の三つの小学校 ◎適正配置に向けて、保護者や地域住民との協議と検討

学校ICT ◎タブレット端末の拡充 ◎電子黒板を市内小中学校の全普通教室と理科室へ設置

幼児教育 ◎市の支援などにより私立幼稚園や認定こども園が幼児教育を担うことで、幼稚園教育全体の更なる充実と子育て家庭への支援を推進 ◎市立第二幼稚園、都和幼稚園および大岩田幼稚園の新年度廃園

学校給食 ◎老朽化が著しい二つの給食センターを統合し、食育指導や食物アレルギー対応の充実に向けて、新治庁舎跡地に新センターを整備

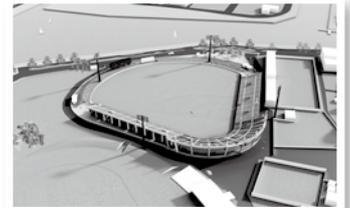
新図書館 ◎霞ヶ浦や郷土・土浦に関する豊富な資料を備え、生涯学習と情報の拠点としてふさわしい施設を目指す

市民ギャラリー ◎市民が作品を展示する場を提供するとともに、美術展やイベントの開催、収蔵品の公開を推進し、身近な芸術鑑賞の場を提供

市民会館 ◎施設の耐震化および大規模改造に向けて基本・実施設計に着手

スポーツの振興 ◎かすみがうらマラソン兼国際盲人マラソンをはじめ、各種スポーツに親しむ機会の充実 ◎「いきいき茨城ゆめ国体」の平成31年度の開催に向けて、市民意識の高揚を図り、おもてなしの心を持って開催ができるよう体制強化

スポーツ・レクリエーション施設 ◎川口運動公園野球場に1万3000人を収容できる観覧席や夜間照明を設置



6. 人と環境にやさしい循環型社会づくり

かけがえのない地球環境を守り、我々がこれまで享受してきた自然の恩恵を後世に引き継いでいくために、環境にやさしいまちづくりを進め、循環型社会を構築します。

持続可能な地球環境の保全 ◎平成30年度に茨城県で開催される世界湖沼会議を契機として、泳げる霞ヶ浦を目指し、国・県および市民団体などと連携

ごみ処理の適正化とリサイクルの推進 ◎老朽化した清掃センターおよび最終処分場の延命化のため、更なるごみの減量化と再資源化 ◎平成30年度からの家庭ごみの有料化に向けた準備

環境衛生の推進 ◎老朽化が進む衛生センターを、し尿、浄化槽および農業集落排水施設の汚泥を合わせて処理することができる、汚泥再生処理センターとして整備

安定した上水道の供給 ◎災害などにも備え、十分な配水能力を有する施設として、新年度末に供用を開始

快適な生活を支える下水道 ◎施設全体の持続的な機能確保および維持管理経費を低減 ◎公営企業会計移行に向け準備

良好な住環境の確保 ◎住宅リフォーム助成事業を引き続き実施

空き家 ◎関係部署が横断的な連携を図りながら、実態把握と注意喚起や指導・助言の強化に努め、適正管理を促進



これらの施策を推進するための基本姿勢

行財政改革の推進

第5次行財政改革大綱に基づき、「改革は終わりになきチャレンジ」を基本理念として、行財政改革に間断なく取り組み、持続可能な財政運営と効率的・効果的な行政運営、機能的な組織づくりおよび人材を育成します。

新年度の行政機構 ◎都市整備部と産業部の統合、国体推進課の新設など新たな行政課題や重点施策への対応、また簡素で効率的かつスリムな組織づくりの実施

公社などの外郭団体 ◎時代に即した組織・機構として見直し

各種イベント ◎必要性・有効性・効率性・公平性などについて改めて検証

公共施設などの最適かつ適正な配置 ◎「施設量適正化の推進」、「長寿命化の推進」、「適切な施設配置と民間活力の活用」の3つの基本方針を踏まえ再編計画を策定

公共施設跡地 ◎跡地利活用方針を踏まえ具体的な検討

市税など自主財源の確保 ◎滞納処分の強化や差し押さえた財産の公売を積極的に実施 ◎市・県民税の特別徴収を徹底 ◎各種使用料について見直しや補助金のあり方について検討

市民と行政が一体となった協働によるまちづくり

地域コミュニティや市民活動団体などと行政が連携・協働し、市民に身近なまちづくりを実現するため、地域生活の基礎となるコミュニティの活性化を図り、「地域力」と「市役所力」が一体となった協働のまちづくりを推進します。

市民協働のまちづくり ◎市民団体などが提案する公共性や公益性のあるまちづくり事業に助成

地域における協働の担い手の育成 ◎シンポジウムやワークショップ、NPOセミナーを実施 ◎次代を担う若い世代を対象とする懇談会を実施

広報広聴の充実 ◎シティプロモーション推進体制を強化

男女共同参画社会の推進 ◎誰もが互いを尊重し、家庭・地域・職場など社会のあらゆる分野で活躍できる環境づくりやワーク・ライフ・バランスの実現に向けた啓発イベントを開催

人権尊重社会の実現 ◎人権と平和のつどいの開催